

令和6年度 学校評価 大路小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれ、意欲と活気がみなぎり、信頼される学校 ・読書の好きな児童の育成 ・「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある学校
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「たんば大路ふるさと学」を進め、主体的に地域に関わる児童の育成 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善（自由進度学習） ・個性を尊重し、成就感を大切にした学級指導

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	保護者・地域との連携	地域と連携したふるさと学の推進	A	地域の「人」「自然」「もの」を活かした大路ならではの教育「たんば大路ふるさと学」を、全学年において計画的に進めている。学校評価アンケートでは、「地域の人との学習を楽しむにしている」と回答した児童が94%である。今後も、地域の協力を得ながら、継続して取り組んでいく。
教育課程	学習指導	主体的・対話的で深い学びの実現	B	自由進度学習の研究授業や校内研修を進め、児童が主体的に学ぶ取り組みを進めている。「ごんろくの詩」等の活動を通して、全校的に書く活動に取り組んでいる。学校評価アンケートでは、「本や詩に親しんでいる」と回答した児童が85%、保護者が62%である。今後も詩や読書の活動を、全校で継続して取り組んでいく。
課題教育	人権教育	一人一人を大切にしたい学級・学校づくり	A	自分・友だち・学校・ふるさとが好きな大路っ子を目指して、全校で「自分発見」「ひみつの友だち」「大路っ子発見」の取り組みを進めている。「自分によいところがある」と答えた児童は76%、保護者は95%である。さらに、自己肯定感を高めるため、認め、支え合う仲間づくりを進めていく。人権参観日を実施し、保護者・地域とともに考えていく。6年生は、人権校外学習を継続し、さらに人権意識を高めていく。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともに学ぶ「たんば大路ふるさと学」が長年続いていることの成果が表れている。ふるさと大路が好きと肯定的な回答をした児童・保護者ともに9割を超えている。 ・人権教育において、全校的に継続して取り組まれている。自分だけでなく、学級や縦割り班の中で、お互いのよいところ認め合うことにより、個々が自己肯定感を高めている。 ・学校評価アンケートにおいて、児童と保護者の評価に差がある項目がある。あいさつについては、人数が多い場面では、あいさつをしていない子も見受けるので、相手に伝わる自主的なあいさつができるよう、学校・地域ともに声かけをしていきたい。
--

4 次年度の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人」「自然」「もの」を活かした「たんば大路ふるさと学」の継続的な推進 ・子どもが主語になる主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・あいさつやコミュニケーションを大切に、人とつながる子の育成 <p style="text-align: right;">令和7年3月18日 学校名 丹波市立大路小学校 校長名 廣瀬ゆかり</p>
